

平成30年度 学校経営計画書及び学校評価計画書

石川県立飯田高等学校

学校長 佐 道 正 春

1 教育目標

真理を探究し、高い知性と豊かな心を養い、積極・進取の精神をもった明朗快活で実践力のある誠実な人間を育成する。

2 中長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 文武両道を校是として推し進め、教育目標に掲げる人材の育成を目指して教育活動を行っている。
- ② 過疎化・少子化の進展により、生徒が一層多様化している。生徒の多様な意識や能力に応じた学習指導と進路指導が求められている。
- ③ 普通科と総合学科併置の特性を踏まえ、生徒の多様なニーズに応える指導・支援体制の構築が求められている。
- ④ 部活動を通して礼儀や規範意識の向上を図り、ボランティア活動や地域行事への積極参加を通じて、地域に密着した学校作りを推進している。
- ⑤ 地元の中学校と連携を取り、中高接続を意識した英語の学習指導の在り方を追求する取組を進めている。

(2) 生徒に関する中長期的目標

- ① 学びに対する意欲と身構えを自ら整え、キャリア・アップを図り、自分の将来に対して志の持てる基盤を築く。
- ② 基礎・基本となる知識や技能の習得を基に、自らの未来を拓く素地となる思考力・判断力・表現力を身に付ける。
- ③ 礼儀正しく、互いの個性や能力を尊重し合い、故郷に誇りと愛着を持てるグローバルな人材を育成する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 各課、学年、教科間の連携を密接に取り、組織体としての教育力を高める。
- ② 教員一人一人が経営参画意識を持って業務を進め、主任層が積極的に指導・助言や提案を行う。
- ③ 学校公開や外部に対する適切な情報提供を行い、地域の特性を活用した取組を積極的に進める。
- ④ ワークライフバランスを尊重し、家庭や地域等に関わる時間を増やすことでより豊かな生活を実現する。

3 今年度の重点目標

- (1) 生徒の多様な進路希望を実現するために主体性の醸成による相応な学力養成
- (2) 人間関係力の向上による学校全体の組織力の強化と地域に愛される学校づくりの推進
- (3) 普通科、総合学科それぞれの特長を活かした教育活動と相乗効果を生み出す教育の推進
- (4) 効率的でかつ効果的な業務や指導法の改善を推し進める。